



北海道公立大学法人
札幌医科大学 附属病院
 Sapporo Medical University Hospital

病院データ

住所	〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目
URL	https://www.sapporo-gm.online
連絡先(窓口)	臨床研修・医師キャリア支援センター 011-688-9486 (直通) kenshu@sapmed.ac.jp
病床数	922床
専門研修指導医数	242人
臨床研修指導医数	195人
外来患者数	1,575人/日※令和4年度(2022年度)実績
入院患者数	555人/日※令和4年度(2022年度)実績
標榜科	消化器内科 免疫・リウマチ内科 循環器・腎臓・代謝内分泌内科 呼吸器・アレルギー内科 腫瘍内科 血液内科 脳神経内科 消化器・総合・乳腺・内分泌外科 心臓血管外科 呼吸器外科 整形外科 脳神経外科 神経再生医療科 婦人科 産科周産期科 小児科 眼科 皮膚科 形成外科 泌尿器科 耳鼻咽喉科 神経精神科 放射線治療科 放射線診断科 麻酔科 総合診療科 歯科口腔外科 リハビリテーション科 遺伝子診療科 感染症内科
給与(月額)	約35万円
処遇	非常勤(診療医)、年次有給休暇、病気休暇等各種特別休暇有り、各種諸手当有り、健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、健康診断：年1回
サブスペシャリティ	無

札幌医科大学総合診療専門研修プログラム

専門医教育課程において柔軟な施設研修が可能です。一つのプログラム内で、僻地から都市部まで、総合診療医の多様な在り様を経験し、その中で学習者にあった総合診療医としてのキャリア構築につなげることを目標としています。

〔連携施設〕

- 【病院】 道南勤医協函館北病院／松前町立松前病院／北海道立江差病院／せたな町立国保病院／勤医協中央病院／勤医協札幌病院／札幌徳州会病院／東苗穂病院／JCHO札幌北辰病院／手稲溪仁会病院／江別市立病院／市立千歳市民病院／砂川市立病院／総合病院伊達赤十字病院／国立病院機構旭川医療センター／名寄市立総合病院／富良野協会病院／幌加内国民健康保険病院／留萌市立病院／オホーツク勤医協北見病院／公立芽室病院／市立釧路総合病院／町立厚岸病院／町立別海病院
- 【診療所】 手稲家庭医療クリニック／合田内科小児科医院／喜茂別町立クリニック／黒松内町国保くろまつないブナの森診療所／三意会ホームケアクリニックあづま



院長 土橋 和文

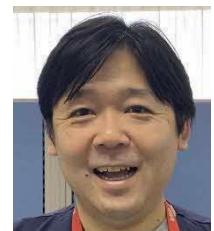
院長から

幾度も個人の岐路・選択があった。都度、強い根拠で選択はしていない。が心掛けたことがある。目先の成果・効率は選択基準としないこと。一つ先を「ぼんやり」決めること。「あずましい」毎日を送ること。当然、ベストの選択はしていない。幸い、日々飽きずに送れた。大学附属病院、実に人が多。 「ロールモデル・反面教師」も潤沢だ。「コンシェルジュ機能」に始まり、同輩先輩との論議と余暇、学生・後輩への「屋根瓦」教室、国内外留学と博士課程研究・立案、一般疾患から世界初の経験まで、毎日飽きない。何より「型：守破離(しゅはり)」がある。どの年代からでも参加可能門戸を叩いてみて欲しい。

総合診療科長から

当院は特定機能病院でありながら、周辺を住宅地で囲まれ、地域の拠点病院としても機能しています。しかし、当院には、高度に細分化された専門科診療では対処できない患者さんが少なからずおり、総合診療科(当科)ではこうした患者さんを中心に広く全人的医療を展開しています。また、当科は医学部学生や初期臨床研修医を対象とした教育に携わる機会も多く、教育を通じた多くの学びの場が存在します。

北海道の医療、ひいては世界の医療に貢献できるような豊かな人材を、みなさんとともに育てることができればと思います。



臨床研修・医師
キャリア支援センター長
辻 喜久



施設所在地の概要

病院理念

札幌医科大学附属病院は、患者さんに信頼、満足、安心していただける安全で質の高い医療を提供するとともに、高度先端医療の研究・開発に取り組み、人間性豊かな優れた医療人の育成に努め、北海道の地域医療に貢献することを目的とします。

病院概要

医科系大学附属の総合病院として30診療科、922床の施設を有し、教育研修の場として医師の育成に貢献するほか、高度先進医療や診療体制の整備により道民の要望に応えるとともに、遠隔地の多い本道における地域医療の発展や災害時の受け入れ医療機関として大きな役割を担っています。

平成8年、高度な医療の提供・医療技術の開発や研修等の実施能力を備えた特定機能病院として承認を受け、平成14年には重篤救急患者を受け入れ、高度・専門的な救急医療を行う北海道初の高度救命救急センターを設置、そのほか、エイズ治療拠点病院（北海道ブロック拠点病院）、災害拠点病院（基幹災害拠点病院）、北海道リハビリテーション支援センター、地域がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院などの機能を有しています。

新規がん治療である「がんワクチン療法」や脳梗塞、脊椎損傷に対する「神経再生医療」など独自の基礎研究に根差した診療が国内外の関係者から注目を集めており、手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」や心・脳血管X線撮影装置を有する「ハイブリッド手術室」などの最新医療設備や、遺伝子診断に関する「臨床遺伝外来」などにより最先端医療を展開しています。

また、大学附属病院として臨床教育と研究の中核的な機能を果たしており、各種医療職の育成、専門家への研修等により、優秀な人材を社会へ送り出しています。

交通アクセス

札幌医科大学及び附属病院は、札幌市の都心部西部に集約されています。

周辺には大通公園、北海道立近代美術館などがあり、札幌都心部では文化的なゾーンとして知られています。勉学に集中できる落ち着きと都市の利便性に恵まれています。

- 最寄り駅
地下鉄 東西線西18丁目駅下車 5・6番出口から徒歩3分
市電 西15丁目下車 徒歩3分
- 札幌駅から
JR北海道バス 啓明線[51] JR北海道バス 啓明線[53]
- 桑園駅から
JR北海道バス 桑園円山線[桑11]

